

日本電波工業株式会社

第 80 期中間報告書

(2020年4月1日～2020年9月30日)



株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より、格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第80期第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）の事業の概況と決算の状況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で世界各国の経済活動が停滞し、当第1四半期（4～6月）の景気は大幅に悪化しましたが、主要国では積極的な財政出動を実施し、経済活動の再開に踏み切ったことで景気はその後、回復軌道に戻りました。特に中国では他国に先駆けて経済の正常化が進み、米国や日本でも景気は持ち直しに転じました。しかしながら、新型コロナウイルス感染の再拡大により経済制限を強化する動きもあり、世界経済の先行きは依然として不透明な状況です。

当第2四半期（7～9月）の車載市場は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた第1四半期の低迷から脱し、回復傾向を示しました。特に中国では新車販売台数が9月まで6か月連続で前年同月を上回りました。欧米においても9月に新車販売台数が前年同月比プラスに転じております。このような状況下、当社売上高の半分近くを占める車載向けの売上高は、第1四半期には前年同四半期の6割強の水準まで落ち込みましたが、5月を底に回復し、第2四半期の売上高は前年同四半期の9割強の水準まで回復いたしました。

産業機器市場では5G基地局向けを中心に第2四半期も販売が堅調に推移し、第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比で増加いたしました。移動体通信向けでは5Gスマホ向けに1612サイズのサーミスタ内蔵水晶振動子を含む小型水晶振動子の販売が増え、第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比で増加いたしました。一方、民生向けは第2四半期の売上高は回復したものの、一眼レフ需要減の影響を受け、第1四半期の売上高が大きく落ち込んだため、第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比で減少いたしました。

その結果、当期の売上高は17,575百万円（前年同四半期比11.4%減）となりました。

利益につきましては、売上高が大きく減少し、約4億円の構造改革費用を計上したものの、前連結会計年度に実施した希望退職者募集を含む構造改革の実施により固定費を圧縮したこと、及び前第2四半期連結累計期間に計上した1,884百万円の減損損失が今期はなくなることから、当第2四半期連結累計期間の営業損失は1,453百万円（前年同四半期は営業損失2,718百万円）、税引前四半期損失は1,663百万円（前年同四半期は税引前四半期損失2,790百万円）、四半期損失は2,157百万円（前年同四半期は四半期損失2,796百万円）となりました。

これまで未定としておりました、当連結会計年度の通期見通しを11月10日に公表させていただきましたが、売上高37,600百万円、営業利益3,000百万円、税引前利益2,500百万円、当期利益1,200百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何とぞ格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

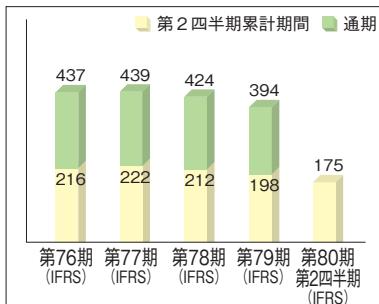
2020年12月



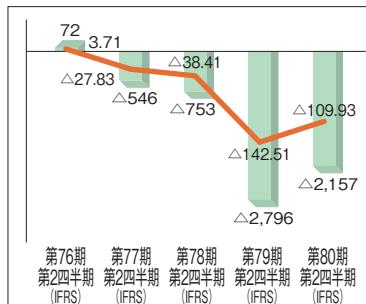
代表取締役会長 竹内敏晃

財務ハイライト（連結）

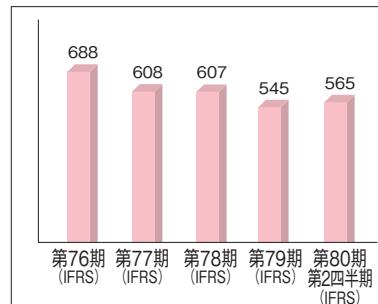
・売上高 (単位：億円)



- ・四半期利益(第2四半期連結累計期間)(単位：百万円)
- ・基本的1株当たり四半期利益(第2四半期連結累計期間)(単位：円)



・総資産額 (単位：億円)



四半期連結財務諸表（国際会計基準）

四半期連結財政状態計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別 前連結会計年度 (2020年3月31日現在)	当第2四半期 連結会計期間末 (2020年9月30日現在)
（資産の部）		
流動資産	35,479	38,288
現金及び現金同等物	10,060	12,316
営業債権	9,906	10,119
棚卸資産	12,936	11,782
未収法人所得税等	6	791
デリバティブ資産	49	32
その他	2,520	1,904
小計	35,479	36,946
売却目的で保有する資産	—	1,342
非流動資産	19,067	18,238
有形固定資産	17,266	16,409
無形資産	228	207
その他の金融資産	803	879
繰延税金資産	529	495
その他	240	246
資産合計	54,547	56,527

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結包括利益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別 前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	19,825	17,575
売上原価	16,783	15,219
売上総利益	3,042	2,355
販売費及び一般管理費	2,997	2,607
研究開発費	873	822
その他の営業収益	127	144
その他の営業費用	2,017	522
営業損失（△）	△ 2,718	△ 1,453
金融収益	153	70
金融費用	225	281
税引前四半期損失（△）	△ 2,790	△ 1,663
法人所得税費用	6	493
四半期損失（△）	△ 2,796	△ 2,157
税引後の他の包括利益及び税引後の他の包括損失（△）	△ 831	97
四半期包括損失合計（△）	△ 3,627	△ 2,059

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

（単位：百万円）

科目	期別 前連結会計年度 (2020年3月31日現在)	当第2四半期 連結会計期間末 (2020年9月30日現在)
（負債の部）		
流動負債	36,542	11,234
借入金	24,560	1,818
リース負債	479	413
営業債務その他の未払勘定	7,520	6,334
デリバティブ負債	33	31
当	2,003	158
未払法人所得税等	145	507
その他	1,800	1,879
小計	36,542	11,143
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	—	91
非流動負債	12,655	37,071
借入金	7,987	32,537
リース負債	1,297	1,186
繰延税金負債	348	347
従業員給付	2,661	2,580
引当金	106	173
政府補助金繰延収益	22	15
その他	230	230
負債合計	49,198	48,305
（資本の部）		
親会社の所有者に帰属する持分	5,349	8,221
資本	10,649	8,096
資本剰余金	3,068	3,015
その他の資本の構成要素	△ 1,716	△ 1,619
利益剰余金	△ 6,652	△ 1,270
資本合計	5,349	8,221
負債及び資本合計	54,547	56,527

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別 前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	190	△ 2,449
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 468	△ 1,522
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 709	6,431
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 987	2,458
現金及び現金同等物の期首残高	8,231	10,060
為替変動による影響	△ 238	21
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	—	△ 225
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,005	12,316

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

NDK製品の主な用途

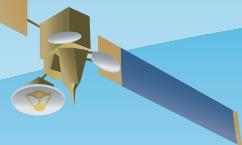
超音波探触子

超音波（エコー）診断装置のセンサとして、腹部、産科、循環器領域の診断に幅広く用いられています。



病院

衛星通信・放送



超高安定水晶発振器

携帯電話の基地局において、携帯電話に送る電波を安定させる、いわば心臓部といえる働きをしています。



データセンタ



移動体通信基地局



超小型水晶発振器

携帯電話が送信する電波、受信する電波を安定化させます。



Town



サーバ



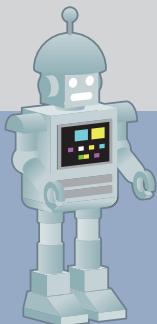
無線LAN

プロジェクタ



パソコン

複合機



ロボット

Office



Environment

QCMセンサ

水晶をセンサとして用いることで、食品・医療・環境などの研究分野で微量の質量の物質をリアルタイム・高感度・高精度に計測・解析することができます。



SAWデバイス

私たちの周りには、たくさんの電波が飛び交っています。その中から通話やメールに必要な電波だけを選択する機能を有しています。



水晶振動子

TV放送の電波を受信したり、デジタルカメラ、ゲーム機の中のマイクロコンピュータが情報の受け渡しをする際のタイミングをとっています。



Home

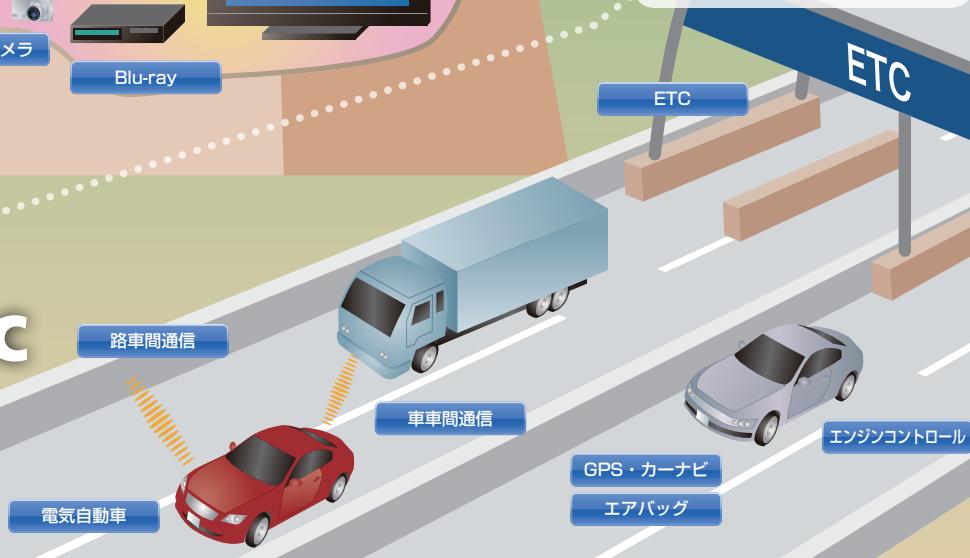


水晶振動子

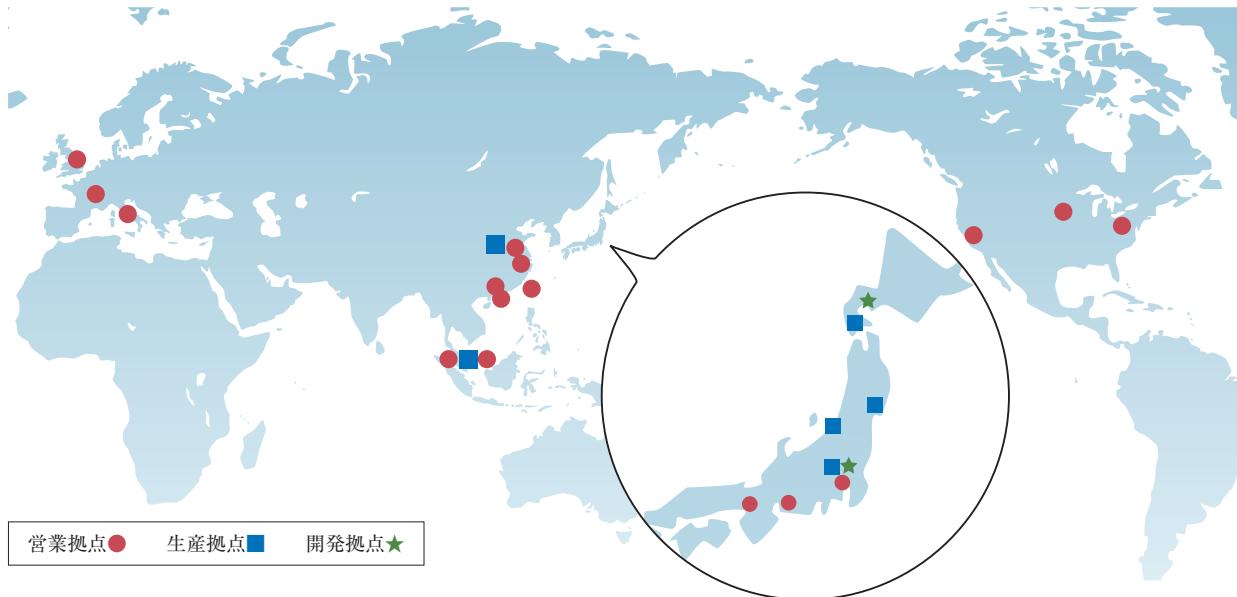
エンジンコントロールやエアバッグ等のクルマの安全に直接関わる部分から、ETC、カーナビ、GPSなどの通信機器に至るまで、幅広く使用されています。



Traffic



NDKグループネットワーク



事業所及び営業所

- 本社事務所（東京都渋谷区）
- 関西営業所（大阪府大阪市）
- 中部営業所（愛知県岡崎市）
- ★ 狭山事業所（埼玉県狭山市）
- ★ 千歳テクニカルセンター（北海道千歳市）

国内関係会社

（国内生産拠点）

- 古川エス・デー・ケー株式会社（宮城県大崎市）
 - 函館エス・デー・ケー株式会社（北海道函館市）
 - 新潟エス・デー・ケー株式会社（新潟県新潟市）
- （国内生産・開発拠点）
- ★ NDK SAW devices株式会社（北海道函館市、埼玉県狭山市）

海外関係会社

（海外営業拠点）

- NDK AMERICA, INC.（アメリカ・イリノイ州）
- SILICON VALLEY OFFICE（アメリカ・カリフォルニア州）
- EASTERN U.S. REGIONAL OFFICE（アメリカ・ペンシルバニア州）
- NDK EUROPE LTD.（イギリス・ロンドン）
- NDK EUROPE LTD. FRENCH OFFICE（フランス・パリ）
- NDK EUROPE LTD. ITALY OFFICE（イタリア・ミラノ）
- NDK CRYSTAL ASIA PTE. LTD.（シンガポール）
- 日本電波工業（香港）有限公司（中国・香港）
- 香港商日電波有限公司台北分公司（台湾・台北）
- 日電波水晶（上海）貿易有限公司（中国・上海）
- 日電波水晶（上海）貿易有限公司深圳分公司（中国・深圳）
- 蘇州日本電波工業有限公司営業部（中国・蘇州）
- 蘇州日電波工業貿易有限公司（中国・蘇州）
- ASIAN NDK CRYSTAL SDN.BHD. SALES DEPT.（マレーシア・セランゴール州）

（海外生産拠点）

- ASIAN NDK CRYSTAL SDN. BHD.（マレーシア・セランゴール州）
- NDK QUARTZ MALAYSIA SDN. BHD.（マレーシア・セランゴール州）
- 蘇州日本電波工業有限公司（中国・蘇州）

◎中間配当金のお支払いについて

第80期の中間配当金は、誠に遺憾ながら無配とさせていただきました。深くお詫び申し上げますとともに、早期に復配できるよう努めてまいります。

◎Information

当社WEBサイトのご案内

当社WEBサイトでは最新のトピックス、詳細なIR情報などがご覧いただけます。
水晶の特性や水晶デバイスの役割等を説明した「水晶の世界」という特設ページもございます。
ぜひご覧ください。

The diagram illustrates the navigation path from the main NDK website to specific information pages. A red dotted line starts from the top navigation bar of the main website, pointing to the '製品・技術情報' (Products & Technical Information) link. Another red dotted line starts from the '投資家の皆様へ' (To Our Investors) link and points to the investor information page. The main website screenshot shows a header with 'NDK 日本電子工業株式会社' and a main banner for '5Gの各種通信装置に 専与するクロック源'. Below the banner are various product categories like 'IC', 'MEMS', and 'RFID'. The '製品・技術情報' page shows a grid of product images and descriptions. The '投資家の皆様へ' page shows a list of investor-related information.

● 製品・技術情報

<https://www.ndk.com/jp/products>

● 投資家の皆様へ

<https://www.ndk.com/jp/ir>

Q NDK 検索 <https://www.ndk.com/jp>

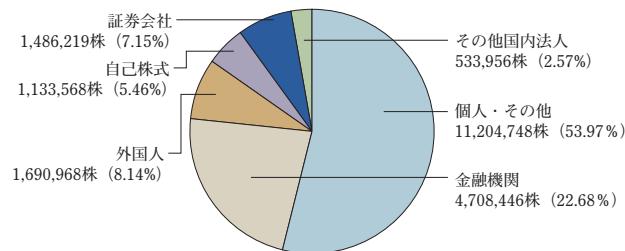
会社の概要 (2020年9月30日現在)

商 号 日本電波工業株式会社
 英 文 社 名 NIHON DEMPA KOGYO CO., LTD.
 設 立 1948年4月15日
 資 本 金 80億円
 従 業 員 678名
 主 要 製 品 産業用水晶振動子、民生用水晶振動子、水晶発振器、水晶フィルタ、信号発生器、周波数シンセサイザ、超音波探触子、人工水晶、光学用デバイス、QCMセンサ

株式の状況 (2020年9月30日現在)

	普通株式	A種種類株式
発行可能株式総数	50,000,000株	5,000株
発行済株式の総数	20,757,905株	5,000株
株 主 数	9,646名	1名

所有者別株式数分布状況 (普通株式)



役員 (2020年9月30日現在)

会社における地位	氏 名
代表取締役会長	竹内敏晃
代表取締役社長	加藤啓美
執行役員社長	立光武彦
社外取締役	諏訪頼久
社外取締役	土屋英傑
社外取締役	坂入夏彦
常勤監査役	吉利誠
監査役	安樂恒樹
監査役	

大株主の状況 (普通株式) (2020年9月30日現在)

株 主 名	持株数	持株比率
株式会社りそな銀行	667千株	3.40%
竹内敏晃	623千株	3.17%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	622千株	3.17%
株式会社埼玉りそな銀行	610千株	3.10%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	569千株	2.89%
竹内寛	528千株	2.69%
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	373千株	1.90%
丸三証券株式会社	326千株	1.66%
株式会社三菱UFJ銀行	318千株	1.62%
東京海上日動火災保険株式会社	315千株	1.60%

注) 自己株式につきましては、上記大株主からは除外しております。また、持株比率は、発行済株式総数から自己株式の数を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会・期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日
 単元株式数 100株
 公告方法 電子公告(予備的公告方法は日本経済新聞)
 公告掲載 URL <https://www.ndk.com/ir>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
 証券コード 6779